

<b>目標の柱</b>	2	就労対策・企業支援と戦略的な取り組みによる町民所得の向上			
<b>基本目標(政策)</b>	2-3	町民所得の向上を図ります(産業振興)			
<b>基本計画(施策)</b>	2-3-2	・林業分野での挑戦			

<b>主管課・係</b>		農林課	林政係・林業振興係		
<b>関係課・係</b>		環境水道課	環境衛生係		
		建設課	建築営繕係		
		農林課	農林土木係		
		各総合支所振興課	農林建設係		

**【施策の目的と取組・現状分析】**

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①国有林・民有林からの素材生産量を増やす。 ②林業を魅力的な産業として成長させる。 ③林業従事者を増やし、定着させていく。</p>																																																						
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①木材生産量(素材生産量)の増加 ②南会津町産材の製品利用の増加 ③林業経営体数の増加と林業従事者数の増加</p>																																																						
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成30年度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 林業経営体数</td> <td>経営体</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>27</td> <td>※30</td> </tr> <tr> <td>B 木材生産量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>32,800</td> <td>35,000</td> <td>36,400</td> <td>※40,000</td> </tr> <tr> <td>C 森林組合従事者数</td> <td>人</td> <td>43</td> <td>45</td> <td>44</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>D 林業総生産額</td> <td>百万円</td> <td>344(27年度)</td> <td>350</td> <td>342(28年度)</td> <td>※360</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	A 林業経営体数	経営体	27	28	27	※30	B 木材生産量	m <sup>3</sup>	32,800	35,000	36,400	※40,000	C 森林組合従事者数	人	43	45	44	50	D 林業総生産額	百万円	344(27年度)	350	342(28年度)	※360	<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>既存会社の事業量が確保できたため</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>林産業での雇用創出のため、実績値を上回る目標値を設定</td> </tr> <tr> <td>B ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>木質燃料の需要増</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>バイオマス利用での需要拡大が見込まれます。現状値に見込み量を加えた目標値を設定</td> </tr> <tr> <td>C ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>事業量確保と並行して進めた機械化により生産性が向上したため</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>保育事業だけでなく、伐出事業への進出により雇用増が見込めます。現状値を上回る目標値を設定</td> </tr> <tr> <td>D ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>製材用の木材価格は横ばいであったが、チップ需要が旺盛でそちらに流れたため</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>バイオマスでの木材利用増加及び広葉樹材の高次元利用により達成可能であり、現状値を上回る目標値を設定</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 令和2年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	既存会社の事業量が確保できたため	② このままで達成可能	林産業での雇用創出のため、実績値を上回る目標値を設定	B ③ ほぼ目標値どおり	木質燃料の需要増	② このままで達成可能	バイオマス利用での需要拡大が見込まれます。現状値に見込み量を加えた目標値を設定	C ③ ほぼ目標値どおり	事業量確保と並行して進めた機械化により生産性が向上したため	③ 取組改善で達成可能	保育事業だけでなく、伐出事業への進出により雇用増が見込めます。現状値を上回る目標値を設定	D ③ ほぼ目標値どおり	製材用の木材価格は横ばいであったが、チップ需要が旺盛でそちらに流れたため	③ 取組改善で達成可能	バイオマスでの木材利用増加及び広葉樹材の高次元利用により達成可能であり、現状値を上回る目標値を設定
			単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度																																																
	実績値	目標値		実績値	目標値																																																		
A 林業経営体数	経営体	27	28	27	※30																																																		
B 木材生産量	m <sup>3</sup>	32,800	35,000	36,400	※40,000																																																		
C 森林組合従事者数	人	43	45	44	50																																																		
D 林業総生産額	百万円	344(27年度)	350	342(28年度)	※360																																																		
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																				
A ③ ほぼ目標値どおり	既存会社の事業量が確保できたため	② このままで達成可能	林産業での雇用創出のため、実績値を上回る目標値を設定																																																				
B ③ ほぼ目標値どおり	木質燃料の需要増	② このままで達成可能	バイオマス利用での需要拡大が見込まれます。現状値に見込み量を加えた目標値を設定																																																				
C ③ ほぼ目標値どおり	事業量確保と並行して進めた機械化により生産性が向上したため	③ 取組改善で達成可能	保育事業だけでなく、伐出事業への進出により雇用増が見込めます。現状値を上回る目標値を設定																																																				
D ③ ほぼ目標値どおり	製材用の木材価格は横ばいであったが、チップ需要が旺盛でそちらに流れたため	③ 取組改善で達成可能	バイオマスでの木材利用増加及び広葉樹材の高次元利用により達成可能であり、現状値を上回る目標値を設定																																																				
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南会津産木材市の継続</li> <li>・公共建築物における木材の利用促進</li> <li>・一般住宅での町産材使用を促すための木造住宅を対象とした事業の実施</li> <li>・新規採用への支援制度の継続</li> </ul>																																																						
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スギ丸太価格の低下により、南会津産木材市への出材量が少なくなった。</li> <li>・民間企業による燃料チップ生産が開始され、町内外に販売された。</li> <li>・公共施設への町産材利用及び供給が恒常化してきた。</li> <li>・一般住宅での町産材利用が図られた。</li> </ul>																																																						

**【施策の振り返り】**

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素材生産業者から事業地確保の動きが生まれ、生産量増及び安定生産に向けた取組がはじまった。</li> <li>・公共施設のみならず一般住宅でも町産材が使用され、地元消費が確保された。</li> <li>・町内製材所等が原材料として調達する木材について、町産材の割合が増加した。</li> </ul>
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何か？</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した素材生産には、計画的な事業地確保が必要</li> <li>・素材生産及び製品化に要する生産経費の削減(価格競争力・機械化による生産性向上)</li> <li>・人材の確保、育成、就業希望者への情報提供</li> <li>・山林の取引価格の向上(山元への利益還元増加)</li> </ul>

**【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】**

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？</p>	<p>木材価格の低迷から、今まで以上に機械化等による生産性向上とコスト削減を進める必要があります。木材の用途について、建築材以外での利用(バイオマス燃料)の流れを構築し、1本の木から、より多くの収入が得られるカスケード利用の仕組み構築が必要です。</p>												
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th>具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>素材生産業者の生産基盤整備を支援する</td> <td>機械化による効率化及び林道・路網の整備への支援</td> </tr> <tr> <td>建築材の地元消費拡大及び町外への販売</td> <td>木造住宅への町産材使用への支援及び町外販路への展開</td> </tr> <tr> <td>建築材以外での木材利用、商品開発</td> <td>燃料チップ生産体制の構築。木質ボイラの導入</td> </tr> <tr> <td>将来に渡る人材育成・人材確保への支援</td> <td>林業への就業情報の発信、労働安全講習等の研修機会の確保</td> </tr> <tr> <td>森林の約70%を占める広葉樹材取引の推進</td> <td>販売・流通に向けた川上、川中、川下の連携</td> </tr> </tbody> </table>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	素材生産業者の生産基盤整備を支援する	機械化による効率化及び林道・路網の整備への支援	建築材の地元消費拡大及び町外への販売	木造住宅への町産材使用への支援及び町外販路への展開	建築材以外での木材利用、商品開発	燃料チップ生産体制の構築。木質ボイラの導入	将来に渡る人材育成・人材確保への支援	林業への就業情報の発信、労働安全講習等の研修機会の確保	森林の約70%を占める広葉樹材取引の推進	販売・流通に向けた川上、川中、川下の連携
施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策												
素材生産業者の生産基盤整備を支援する	機械化による効率化及び林道・路網の整備への支援												
建築材の地元消費拡大及び町外への販売	木造住宅への町産材使用への支援及び町外販路への展開												
建築材以外での木材利用、商品開発	燃料チップ生産体制の構築。木質ボイラの導入												
将来に渡る人材育成・人材確保への支援	林業への就業情報の発信、労働安全講習等の研修機会の確保												
森林の約70%を占める広葉樹材取引の推進	販売・流通に向けた川上、川中、川下の連携												

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和2年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			元年度決算額	うち一般財源	2年度予算額	うち一般財源	-	-
01	森林整備地域活動支援事業	農林課	目的	森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業の実施を通じた森林整備を推進し、森林の有する多面的機能を発揮させ地域の森林整備を推進する。				
			概要	森林整備を行うためには森林経営計画を立てて実行することが有効であり、民有林の経営計画策定のための地域活動に対する経費を交付した。				
			成果	地域の民有林整備に必要な森林経営計画の策定を実施した。				
		林政係	問題	森林経営計画は、人工林のまとまった森林の選定や所有者の承諾が必要で、計画策定までに、時間と労力が必要となる。				
			対策	森林所有者の意向や町が提供できる情報を活用し、策定を進めていく。				
			事業費	480	120	0	0	-
02	森林環境交付金事業	農林課	目的	森林の持つ多様な資源を有効に活用することによって、地域の森林学習の場や里山整備等による森林環境への住民意識醸成等により、新たな地域の活性化を図る。				
			概要	町内小中学校における森林環境学習や地域住民による森林づくりへの参画を促進する事業へ補助。ヤマザクラ植栽による里山林整備や、町産材を利用した内装木質化を実施。				
			成果	事業展開に地域の人々が関わることで、地域全体へ森林整備の重要性や森林の持つ公益的機能の再認識が図られ、森林環境への関心が高まった。				
		林政係	問題	各集落で植樹したヤマザクラの育樹管理に格差が出てくると森づくりの意識醸成にも影響が出てくる。				
			対策	各集落のヤマザクラ育樹管理を支援し、森づくり意識の継続的な醸成を進める。				
			事業費	25,575	1,103	36,445	4,385	-
03	林産業人材支援事業	農林課	目的	林産業の将来を担う人材の育成を支援することで、林産業の後継者確保と経営の強化向上を図る。				
			概要	新規雇用を行う林産業者に人材育成経費の一部を支援する。				
			成果	新規雇用を行う林業経営体が新たに発生した。				
		林業振興係	問題	民間企業の業績と雇用は関連するため、林業の成長産業としての魅力を高めていく。				
			対策	単一企業での成長ではなく、町内関連企業が連携して人材育成を進める。				
			事業費	600	600	4,800	4,800	-
04	県営事業負担金(林道開設)	農林課	目的	森林が有する、多面的機能の維持・増進を図るため、生活環境の改善にも資する骨格的な林道及び林業専用道の整備を図る。				
			概要	旧独立行政法人緑資源機構が整備してきた緑資源幹線林道の計画区間を引き継ぎ整備を行うための町負担金及び森林施業のための道である林業専用道整備事業による負担金。				
			成果	森林が有する、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、林産物の供給等の多面的機能の維持・増進が図られた。				
		農林土木係	問題	国費及び県費の予算の確保が困難のことから、事業期間内での完了が困難なこと。				
			対策	県当局に引き続き事業継続の要望を行う。				
			事業費	25,230	25,230	16,830	16,830	-
05	森林環境保全直接支援事業	農林課	目的	間伐や保育・造林等による森林整備を行うことで、森林の持つ多面的・公益的機能の維持向上を図る。				
			概要	植栽、雪起こし、下刈、除伐・間伐等による森林の整備を行う。				
			成果	間伐や保育等造林事業を行ったことにより、森林の多面的・公益的機能の維持向上と森林資源の価値を高める森林整備が図られた。				
		林政係	問題	豪雨災害により、森林内の作業路被害があり森林整備箇所の計画変更が強いられる事例が出てきた。				
			対策	森林整備計画の見直しを実施し、林道・作業道の整備を追加していく。				
			事業費	23,353	11,051	26,567	13,533	-
06	★ 農山漁村地域整備交付金事業	農林課・館岩総合支所振興課	目的	林道矢竹阿多根線の落石対策を実施することにより、落石防止及び交通の安全確保を図る。				
			概要	L=82mの落石対策を実施する。				
			成果	林道矢竹阿多根線の落石対策により地域産業の振興が図られる。				
		農林土木係・農林建設係	問題					
			対策					
			事業費	31,272	0	58,930	202	-
07	町産材使用新築住宅等支援事業	農林課	目的	町内に建築される木造住宅に対し町産木製品の使用量に応じて補助金を交付し、町産木材の利用拡大を図る。				
			概要	町産木材の使用量に応じた補助(50~150万円)。薪ストーブ嵩上げ補助(50万円)				
			成果	町産木材の利用拡大により町内関係事業体の活性化を狙います。				
		林業振興係	問題	実行財源の確保。				
			対策	事業成果の検証及び安定した財源の模索。				
			事業費	21,600	21,600	12,000	12,000	-
08	林業成長産業化モデル事業	農林課	目的	林業の成長産業化に向けた地域構想に基づき、目的達成のため各種プロジェクトを実施し林業振興を図る。				
			概要	目的達成のため11の重点プロジェクトを平成29年度から5ヵ年間実施します。				
			成果	令和3年度に「素材生産量43,000m <sup>3</sup> /年」「森林認証林面積:10,000ha」「林業関係従事者数:300人」を目指します。				
		林業振興係	問題	目的達成に必要な現状を踏まえた対策の構築。				
			対策	業界及び専門団体を構成員とした林業成長産業化推進会議での検討、事業化。				
			事業費	26,404	10,755	310,308	174,219	-

09	林道舗装工事	農林課	目的	林道富貴沢線の舗装工事を実施することにより、通行車両の走行性の向上や維持管理費用の軽減を図り、また地域産業の振興、農山村地域の生活環境の改善や林業従事者の就労環境の改善を図る。					
			概要	林道富貴沢線の舗装工事を実施した。					
			成果	林道富貴沢線の舗装工事により地域産業の振興が図られた。					
		農林土木係	問題	予算の確保。					
			対策	維持管理費の軽減のための予算の確保。					
			事業費	7,920	7,920	3,100	3,100	-	-
10	補助治山事業山腹工事	農林課	目的	藤生小塩地区の家屋裏の山腹崩壊箇所の復旧を図る。					
			概要	簡易法枠工により山腹崩壊箇所の復旧を実施した。					
			成果	山腹崩壊箇所の復旧により、地域住民の生活の安全が図られた。					
		農林土木係	問題	特になし					
			対策						
			事業費	7,078	2,137	30,600	650	-	-
11	町産材消費拡大支援事業	農林課	目的	素材生産の増加に向けた運搬支援及び地元加工による地産地消・地産外商。					
			概要	針葉樹丸太の町内製材所等への運搬に対する補助。					
			成果	町産針葉樹丸太の町内取引の活性化。					
		林業振興係	問題	執行予算の確保。					
			対策	木材価格が上昇し、支援なしの取引で素材生産量が維持できる見込めた場合、支援を終了する。					
			事業費	9,078	9,078	10,000	10,000	-	-
12 ★	森林経営管理事業	農林課	目的	民有林における林業経営の効率化及び森林経営の適正化を促進するため、町が森林所有者と林業経営体をつなぎ適正な森林管理を行う。					
			概要	伐期を迎える私有林人工林所有者へ森林管理の意向を確認し、森林の適正な管理を進める。					
			成果	森林所有者への意向調査実施と森林整備や人材育成、森林の公益機能の普及啓発木材利用推進に備えて基金積立を実施した。					
		林政係	問題						
			対策						
			事業費	18,481	18,481	39,258	39,257	-	-
事業費(一般財源)の合計(千円)			197,071	108,075	548,838	278,976	-	-	